

TAKOU かわら版-192号

多度津高等学校

〒764-0011 香川県仲多度郡多度津町栄町 1-1-82

Tel (0877) 33-2131 Fax (0877) 33-2132

HP : <https://www.kagawa-edu.jp/takouh01/> e-mail: takouh01@kagawa-edu.jp

上記のホームページアドレス・QRコードから最新情報をご覧になれます。

TAKOU 100



191名の生徒、それぞれの進路へ

3月1日(水)、卒業証書授与式・修了証書授与式が行われ、全日制課程180名、定時制課程4名、専攻科生7名、計191名の生徒が本校を旅立っていきました。今年の卒業式は、新型コロナウイルス対策を緩和する方向でのガイドラインが出ていたため、来賓の祝辞が壇上から送られたり、マスク着用が自由となったりと昨年度までとは違った形での開催となりました。高倉校長先生は式辞の中で、「ドアを開け」という表現を使いながら、チャンスを活かすことができるのはいつか訪れるその時に備えて構えを作っていた人間、すなわち準備をしていた人間であるというメッセージを送られました。在校生代表として現生徒会長の千葉颯太さん(3ケ)が送辞を、卒業生・修了生代表として前生徒会長の藤原聖也さん(旧3ケ)が答辞を述べました。心配されていた天候も卒業生の門出を祝うのにふさわしい快晴で、卒業生の晴れやかな心境を映し出しているようでした。式後は、クラスごとに各会場に移動し、最後のホームルームを受けました。担任の先生や授業等でお世話になった先生方からの言葉を受け止め、クラスメイトへ最後の感謝の言葉を1人ずつ語ったクラスもありました。名残惜しくもありますが、卒業した生徒たちが今後もそれぞれの道で活躍してくれることを期待しています。



表彰状授与式、同窓会入会式

2月28日(火)、3年生が表彰状授与式と同窓会入会式に参加しました。表彰状授与式では、香川県教育委員会賞に山地さん(旧3ト)、産業教育振興中央会賞に長原さん(旧3キ)、森さん(旧3セ)、仲野さん(旧専攻科2年)、全国水産高等学校長協会賞に山口さん(旧3才)、全国工業高等学校造船教育研究会会長賞に篠原武流さん(旧3キ)が選ばれるなど、多くの生徒が表彰を受けました。その後行われた硯ヶ丘同窓会入会式では卒業生が同窓会へと入会しました。



3学期クラスマッチで熱戦

3月14日(火)、15日(水)、悪天候による競技変更が心配されていましたが、予定通り3学期のクラスマッチが開催されました。いつも優勝候補に挙がる3年生がいない中、1、2年生の優勝をかけた熱い試合が今回も繰り広げられました。ソフトボール競技では2年土木科、バドミントン競技では1年機械科、卓球競技では1年機械科、オセロ競技では2年機械科が優勝を果たしました。おめでとうございます。



「みんな優勝を目指してやってきたのでそれが達成されて素直に嬉しい。試合を重ねるごとにプレーのレベルが上がるのはもちろんだが、クラスの結束が深まっていったのを感じられて良かった。3年生になっても優勝したい。」(2ト 大西さん)

遠洋航海実習から無事帰港

3月17日(金)、2年海洋技術科20名が遠洋航海から無事に帰港し、多度津港で帰港式が行われました。生徒の帰港を祝うかのような快晴の下、たくさんの保護者や教職員、報道陣が駆け付けました。今回の操業実習は捕獲量も多く、忙しくも充実した実習となったようです。



65日間、苦しいことも多かったと思いますが、非常に貴重な経験をして多くの知識や技術を得たと思います。また、より一層日頃の日常生活や家族のありがたさを感じたのではないのでしょうか。

「慣れない船内生活に挫けそうになることもありましたが、みんなで協力してお互いが成長できた実習だったと思います。この経験をこれからの人生に活かしていきたいです。」(3才 岩中さん)

小学生と「思い出缶詰」作成

2月20日(月)、下高瀬小学校で「思い出缶詰づくり」が行われました。海洋生産科の生徒が缶詰づくりの仕組みを小学生に伝え、一緒に缶詰をつくるというイベントでした。そのため、海洋生産科の牧野さん(3セ)、細川さん(3セ)と秋山先生が小学校を訪問し、小学生に缶詰づくりについて説明した後、小学生とタイムカプセルとなる缶詰を作成しました。小学生は楽しみながら一生懸命缶詰づくりに励んでいたということです。



「大人になった自分へ送ったタイムカプセルを見て、新しい目標や将来を決める糧になってくれたらと思います。」(海洋生産科 秋山先生)

次年度に向けた準備進む

3月16日(木)、リモート集会と教室移動が行われました。リモート集会では、「進路について」、「18歳成人について」、「教育相談部より」、「人権・同和教育部より」の4つの分野に分かれて、それぞれの先生方が講演を行いました。1つ学年が上がる生徒たちにとって、学びのある集会になったのではないのでしょうか。リモート集会の後は、教室移動が行われました。生徒が使っている机や椅子、ロッカーなどを新しい学年の教室へ運びました。3年間同じものを使うことで、自分の身の回りのものを大切にする気持ちを養ってほしいと思います。新しい教室に入ると、いつもと違う雰囲気や1つ学年が上がることを実感し、わくわくした気持ちになった生徒が多かったようです。

かがわ食品ロス削減大賞受賞！！

2月17日(金)、香川県庁で、「第3回かがわ食品ロス削減大賞」の受賞及び表彰式が開催されました。本校海洋生産科の「骨のあるヤツ！多高のハマちゃん！」が団体部門の環境森林部長賞(大賞)に選出されました。本商品は、大量に廃棄されているハマチの中落ちを食品として有効活用するため、ハマチ1匹分の中落ちを封入した照焼き風レトルトパウチで、背骨も含めて不可食部がなく、真空包装・加熱殺菌することで長期間常温保存が可能であるという特徴があります。また、栄養価も高いことから、複数のメディアで紹介されたほか、eco-1グランプリで環境大臣賞を受賞、また行政から商品化が検討されるなど、取り組みが高く評価されています。表彰式に参加した牧野さん(3セ)は、「このような賞を受賞できるとは予想していなかったのととても驚いた。自分だけの取り組みではなく、約5年間の歳月をかけて先輩たちから受け継ぎながら取り組んできたことが実を結んだ結果であり、試行錯誤の賜物なので色々な人に感謝したい。」と話してくれました。



CO2削減コンテストで受賞！！

2月18日(土)、かがわ国際会議場で「G7香川・高松都市大臣会合開催記念CO2削減フェスティバル2023」が開催され、本校の取り組みがCO2削減賞を受賞しました。本コンテストは、各学校において電気・水道使用量の削減を通して、CO2排出量の削減を図るとともに、参加する子どもたちの省エネ意識を高めるなど、地球温暖化防止に関する普及啓発を一層進めることを目的としたものです。本校では、校内にアサガオのグリーンカーテンを設置して暑さを和らげたこと、町内の公園にある休憩小屋にグリーンカーテンを設置し、緑で覆われた憩いの空間を作ったこと、県産ヒノキを使ったベンチを製作し、瀬戸内国際芸術祭の舞台になっていた高見島と栗島に寄贈したこと、県産ヒノキのカンナくずを再利用し、木の花を作るワークショップを開催したことの4つの取り組みが評価された形となりました。「このような大きな賞を受賞できるとは思っていなかったのが嬉しいです。SDGsの意識が社会的に高まりを見せる中、環境への配慮と生活の利便性の両立を図るのは私たちの使命だと思います。」(3ケ 山内さん)



桃陵八重桜の植樹式！！

2月26日(日)、桃陵公園にて写真部の生徒が八重桜の植樹式に参加しました。植樹式に参加した前川さん(2ケ)は、「斜面での作業は慣れなくて大変だったが、多度津町の名物でもある桃陵公園の景観を美しくすることに貢献できるのは光栄なこと。とてもやりがいを感じたし、終わったときの達成感も大きかったのでまた来年も取り組みたい。」と話してくれました。桃陵公園で桜が満開になるのが楽しみです。



《主な行事》

4月

- 6日(木)離任式・始業式
- 7日(金)入学式
- 9日(日)ミニ水族館
- 10日(月)着任式・対面式、実力テスト(2、3年)
- 11日(火)実力テスト(2、3年)
- 12日(水)県下一斉テスト(1年、2年工業科)
- 13日(木)～19日(水)面接週間
- 20日(木)心電図検査
- 21日(金)～25日(火)内科検診
- 26日(水)眼科検診
- 27日(木)第1回書取テスト

新入生を迎えて、いよいよ新しい1年のスタートです。気持ちを新たに目標に向かって頑張らしましょう。

生徒会

5月

- 2日(火)眼科検診、第1回小論文テスト(3年)
- 3日(水)PTA総会、授業公開日
- 8日(月)振替休業日
- 9日(火)中間考査時間割発表
- 10日(水)～12日(金)歯科検診
- 15日(月)40分×⑥、専攻科航海出港
- 16日(火)～19日(金)中間考査
- 21日(日)さぬきマルシェ(高松サンポート)
- 25日(木)校外学習
- 28日(日)専攻科航海帰港
- 29日(月)～31日(水)研修航海(1年)
- 29日(月)～6月1日(木)総体前短縮授業(45分×⑥)

